

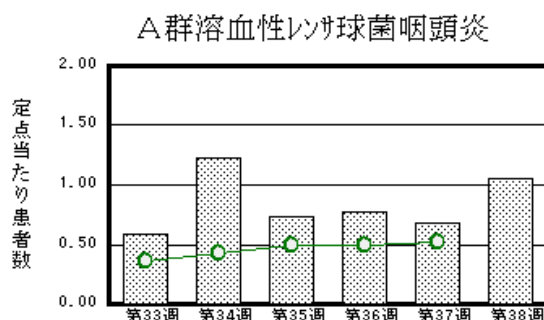
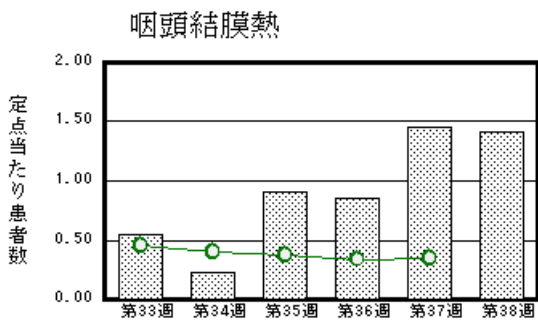
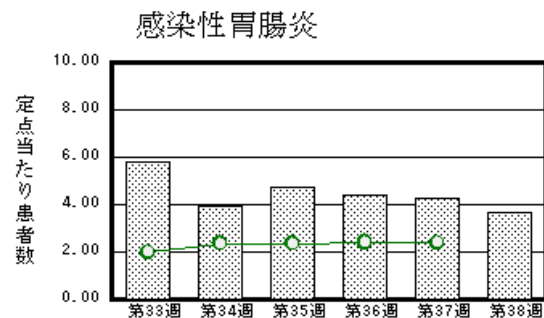
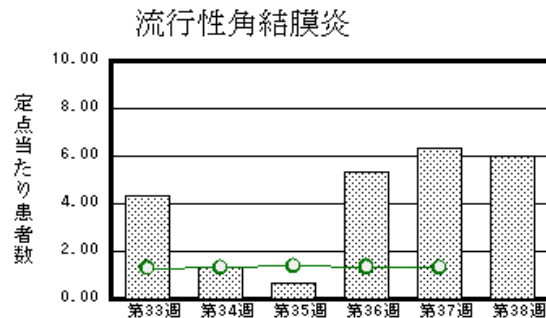
福井県感染症発生動向調査速報

<<平成17年>>

発行日：平成17年9月28日
 発行：福井県健康福祉部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 流行性角結膜炎18名(6.0名) 感染性胃腸炎81名(3.68名) 咽頭結膜熱31名(1.41名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎23名(1.05名) 流行性耳下腺炎17名(0.77名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(81名) 咽頭結膜熱(31名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(23名) 流行性角結膜炎(18名) 流行性耳下腺炎(17名)
- 【流行性角結膜炎】報告数は18名です。定点当たり患者報告数は減少しました(6.33名 6.0名)。丹南地区16.0名、福井地区1.0名です。
- 【感染性胃腸炎】報告数は81名です。定点当たり患者報告数は減少しました(4.27名 3.68名)。地域別に見ると福井地区7.29名、坂井地区4.0名、奥越地区3.0名、二州地区1.67名、丹南地区1.2名、若狭地区0.5名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は31名です。定点当たり患者報告数は減少しました(1.45名 1.41名)。地域別に見ると奥越地区6.5名、坂井地区4.33名、若狭地区0.5名、福井地区0.43名、丹南地区0.2名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は23名です。定点当たり患者報告数は増加しました(0.68名 1.05名)。地域別では丹南地区2.6名、坂井地区・奥越地区1.0名、福井地区0.71名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2005年第35週号(8月29日～9月4日)要点

発生動向総覧	<第35週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した / その他最新動向
注目すべき感染症	<インフルエンザ> 現在は年間を通じて最も発生数が減少している時期であると考えられるが、第35週の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較すると最も高い値となっている <腸管出血性大腸菌感染症> 本年第35週までの累積報告数は2,349例である
病原体情報	咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2005年
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>
 全国版の要点は、9月26日現在で最新のものです

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成17年 第38週 平成17年9月19日(月)～平成17年9月25日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(37週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)									190 0.04
小児科 (22)	RSウイルス感 染症	1 0.14					3 0.6	4 0.18	6 0.27	56 (35週)
	咽頭結膜熱	3 0.43	13 4.33		1 0.5	13 6.5	1 0.2	31 1.41	32 1.45	1053 0.35
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	5 0.71	3 1.00			2 1	13 2.6	23 1.05	15 0.68	1582 0.52
	感染性胃腸炎	51 7.29	12 4.00	5 1.67	1 0.5	6 3	6 1.2	81 3.68	94 4.27	7228 2.38
	水痘	1 0.14	1 0.33			1 0.5	8 1.6	11 0.50	18 0.82	1274 0.42
	手足口病	4 0.57			1 0.5		1 0.2	6 0.27	2 0.09	2189 0.72
	伝染性紅斑						1 0.2	1 0.05	2 0.09	513 0.17
	突発性発しん	4 0.57	1 0.33	1 0.33	1 0.5	4 2	4 0.8	15 0.68	23 1.05	2490 0.82
	百日咳									36 0.01
	風しん									22 0.01
	ヘルパンギー ナ	3 0.43			4 2		5 1	12 0.55	10 0.45	2241 0.74
	麻しん(成人麻し んを除く)									8 0.00
眼科 (3)	流行性耳下腺 炎	2 0.29		2 0.67	7 3.5	5 2.5	1 0.2	17 0.77	23 1.05	3407 1.12
	急性出血性結膜 炎									7 0.01
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								2 0.33	3 0.01
	無菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17	2 0.33	22 0.05
	マイコプラズマ肺 炎								2 0.33	114 0.24
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									8 0.02
	成人麻しん									0

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第35週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成17年第38週 平成17年9月19日(月)～平成17年9月25日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満	1			2							1			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満	3	3		6	1			11			2			12ヶ月未満								
1歳		1歳		5		10	2	1	1	4			2	1	1	1歳								
2歳		2歳		3		8	3	3					1	1	1	2歳								
3歳		3歳		6	3	8	1	2					1	2	2	3歳		1						
4歳		4歳		1	1	4	2							3	3	4歳								
5歳		5歳		5	4	11	2						1	6	6	5歳								
6歳		6歳		3	5	1							1	2	2	6歳		1						
7歳		7歳			2	7										7歳								
8歳		8歳		4	2	2								1	1	8歳		1						
9歳		9歳		1	5	4										9歳								
10～14歳		10～14歳				7							1			10～14歳		1						
15～19歳		15～19歳				5								1	1	15～19歳				1				
20～29歳		20歳以上			1	6							2			20～29歳		2						
30～39歳																30～39歳		4						
40～49歳																40～49歳		2						
50～59歳																50～59歳		2						
60～69歳																60～69歳		3						
70～79歳																70歳以上		1						
80歳以上																								
合計		合計	4	31	23	81	11	6	1	15			12	17	17	合計		18		1				
前期計		前期計	6	32	15	94	18	2	2	23			10	23	23	前期計		19	2	2	2			
当期間/前期	***	当期間/前期	0.67	0.97	1.53	0.86	0.61	3	0.5	0.65	***	***	1.2	***	0.74	当期間/前期	***	0.95	0	0.5	0	***	***	
増減数		増減数	-2	-1	8	-13	-7	4	-1	-8			2	-6	-6	増減数		-1	-2	-1	-2			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

